

広島県告示第63号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成29年2月16日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申 請 者 の 住 所 及 び 氏 名	大阪市北区堂島浜1丁目4番16号 三協化成株式会社 代表取締役社長 前田 雅也
工 場 又 は 事 業 場 の 所 在 地 及 び 名 称	東広島市安芸津町三津4234 三協化成株式会社安芸津事業所

2 申請の内容

27－イ無機化学工業製品製造業の用に供するろ過施設1基，27－ロ無機化学工業製品製造業の用に供する遠心分離機1基，46－ロ有機化学工業製品製造業の用に供するろ過施設2基及び46－ニ有機化学工業製品製造業の用に供する廃ガス洗浄施設1基を廃止するとともに，46－ニ有機化学工業製品製造業の用に供する廃ガス洗浄施設1基を設置する。また，汚水等処理施設1基における汚水等の処理の方法及び排水口1ヶ所における排出水の汚染状態及び量を変更する。

(1) 特定施設の種類，能力及び使用の方法

- (その1) 27－イ無機化学工業製品製造業の用に供するろ過施設1基 廃止
- (その2) 27－ロ無機化学工業製品製造業の用に供する遠心分離機1基 廃止
- (その3) 46－ロ有機化学工業製品製造業の用に供するろ過施設2基 廃止
- (その4) 46－ニ有機化学工業製品製造業の用に供する廃ガス洗浄施設1基 廃止

(その5) 新設

種 類		46－ニ有機化学工業製品製造業の用に供する 廃ガス洗浄施設（電池剤工場S－37）		
能 力		57,600 Nm ³ /日		
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	許可後直ちに		
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに		
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		0時から24時，連続 (季節的変動なし)	
	項 目		通 常	最 大
	排出される 汚水等の状 態	水 素 イ オ ン 濃 度 指 数		12
		化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	10,000
	排 出 さ れ る 汚 水 等 の 量 (単 位 ： m ³ / 4 ヶ 月)		0.5	0.5
	汚 水 等 の 排 出 先		排出される汚水等の処理は業者に委託する。	

(2) 汚水等の処理の方法

変更

		変更前	変更後
種 類		污水处理施設R－5	
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	—	許可後直ちに
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	—	許可後直ちに
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	—	許可後直ちに

使用の方法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	項 目		通常		最大		通常		最大	
				処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
		化 学 的 酸 素 要 求 量	(単位 : mg/L)	2,158	42	3,760	114	2,282	42	3,951	114
		窒 素 含 有 量		4,727	100	6,656	200	4,997	100	6,993	200
		ベ ン ゼ ン		0.03	0.03	0.05	0.05	ND	ND	ND	ND
		ジ ク ロ ロ メ タ ン		≦0.002	≦0.002	≦0.002	≦0.002	ND	ND	ND	ND
		シ ア ン 化 合 物		-	-	-	-	ND	ND	ND	ND

(3) 排出水の汚染状態
変更

排水口名	項 目		変 更 前		変 更 後	
			通 常	最 大	通 常	最 大
No.1排水口	ベ ン ゼ ン	(単位 : mg / L)	0.01	0.01	ND	ND
	ジ ク ロ ロ メ タ ン		≦0.002	≦0.002	ND	ND

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成29年2月16日から平成29年3月9日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課，広島県西部東厚生環境事務所環境管理課及び東広島市環境対策課